

麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業 土壌等調査業務委託 特記仕様書

第1条 適用

本仕様書は、麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業 土壌等調査業務委託（以下「本業務」という。）に適用する。なお、本仕様書は、「地質・土質調査業務共通仕様書(相模原市)」（以下「共通仕様書」という。）に記載なき事項及び補足する事項について記載する。

第2条 目的

現場説明書に記載のとおりとする。

第3条 対象範囲

本業務の対象範囲は、別添平面図のとおりとする。

第4条 業務内容

本業務の主な作業内容は、次のとおりとする。

1. 地中障害物調査

（地中レーダ探査）

（1）調査手法

探査機器の送受信アンテナから発する電磁波の地下物体からの反射を利用した地下計測方法により地下構造を見る手法とする。

（2）調査対象

本事業地内の13箇所において、地中レーダ探査を実施する。詳細については、現地調査後、調査計画を立案し、監督員と協議して決定するものとする。

（3）探査機器の性能

測定周波数が200～400MHzで、かつ探査深度が5m程度の機器を使用すること。なお、地盤の状態により探査深度に達しない場合には、状況を記録し、監督員に報告すること。

（4）調査方法

測線は、3m間隔で、網目状（メッシュ）に設定するものとし、隣地境界線と測線の間隔は3m以下とする。

また、RTK-GPS等を用いて、基準点管理を行い、廃棄物混じり土の範囲等探査結果を筆単位で平面図化できるようにする。

（ボーリング調査）

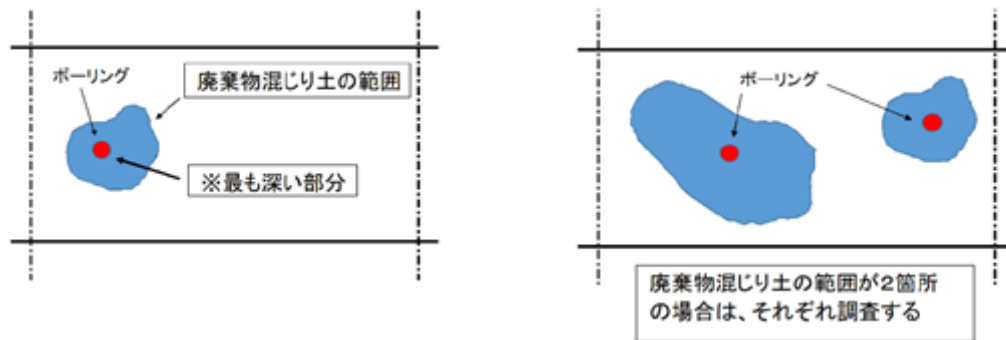
（1）調査目的

地中障害物の種類及び詳細な埋設深さ、埋土の層厚等を確認することを目的とする。

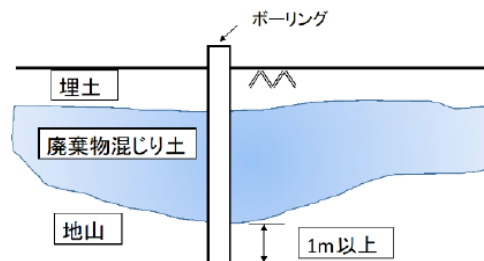
（2）調査方法

① 地中レーダ探査により反応を示した範囲に対してボーリング調査を実施するが、実施箇

所の選定については、監督員と協議して決定する。なお、調査位置は平面図化できるよう管理することとする。



②掘止深度は、広域に堆積する地山から 1m 以上深い位置とする。



③ 掘削は、 $\phi 66 \text{ mm}$ 以上のオールコアボーリングとし、試料観察できるようにコア箱に収める。なお、調査孔については、砂等を充填し閉塞する。

④ボーリングの完了後に、監督員立会いのもとで検尺を行う。

(ボーリング調査実施箇所に対する土壤汚染調査)

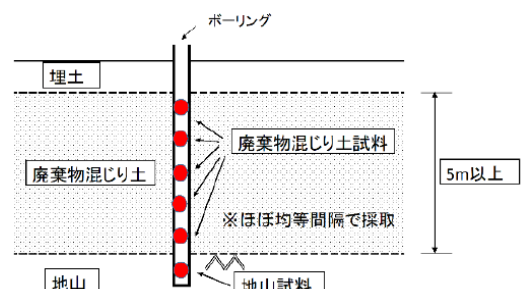
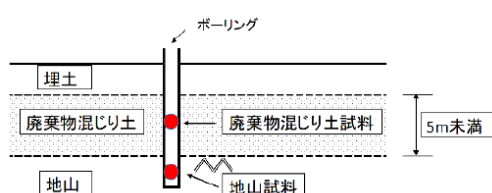
(1) 調査方法

①ボーリングにより採取した試料において、廃棄物混じり土を確認した場合に土壤汚染調査を実施するものとし、試料はボーリング調査で採取したコア試料を用いる。

② 試料を採取する数量は、廃棄物混じり土の層厚を基準として、次のとおりとし、コア試料を観察して土壤汚染の恐れが考えられる地点を選定する。

5m未満の場合：(廃棄物混じり土部分) 1 箇所、(地山部分) 1 箇所

5m以上の場合：(廃棄物混じり土部分) 5 箇所、(地山部分) 1 箇所



③ 採取した廃棄物混じり土を含む試料は、木片、中小の礫を取り除き、土塊を粗砕し、分析に用いるため風乾した後、2 mmのふるいを通過した土壌を、同量に均等混合して1試料とする。

④ 採取地点の選定の判断が困難な場合は、監督員と協議の上決定する。
調査項目及び分析方法は下記のとおり。

溶出量試験

(単位：mg/L)

調査項目	測定方法	基準値
カドミウム及びその化合物	「土壌溶出量調査に係る測定方法を定める件」(平成15年3月環境省告示第18号)	0.003
六価クロム化合物		0.05
クロロエチレン		0.002
シマジン		0.003
シアン化合物		検出されないこと
チオベンカルブ		0.02
四塩化炭素		0.002
1,2-ジクロロエタン		0.004
1,1-ジクロロエチレン		0.1
1,2-ジクロロエチレン		0.04
1,3-ジクロロプロペン		0.002
ジクロロメタン		0.02
総水銀		0.0005
アルキル水銀		検出されないこと
セレン及びその化合物		0.01
テトラクロロエチレン		0.01
チウラム		0.006
1,1,1-トリクロロエタン		1
1,1,2-トリクロロエタン		0.006
トリクロロエチレン		0.01
鉛及びその化合物		0.01
砒素及びその化合物		0.01
ふっ素及びその化合物		0.8
ベンゼン		0.01
ほう素及びその化合物		1
ポリ塩化ビフェニル		検出されないこと
有機りん化合物(パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びE P Nに限る。)		検出されないこと

含有量試験

(単位: mg/kg)

調査項目	測定方法	基準値
カドミウム及びその化合物	「土壌含有量調査に係る測定方法を定める件」(平成15年3月環境省告示第19号)	45
六価クロム化合物		250
シアン化合物		50
水銀及びその化合物		15
セレン及びその化合物		150
鉛及びその化合物		150
砒素及びその化合物		150
ふっ素及びその化合物		4,000
ほう素及びその化合物		4,000

第5条 貸与資料

本業務の遂行にあたり、貸与する図書は次のとおりとする。なお、その他必要となる資料については、別途協議する。

- ・麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業 地中障害物等調査業務委託 調査報告書
(令和4年2月)
- ・麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業 土壌等調査業務委託 調査報告書
(令和4年11月)

第6条 成果物について

共通仕様書第18条に基づく成果物は、紙による報告書は2部作成して提出するものとする。
 なお、電子データの拡張子及び提出媒体等は監督員と協議を行い提出するものとする。
 成果品の内容は次のとおりとする。

(1) 地中レーダ探査結果報告書 1式

探査概要(平面図、探査方法等)、探査結果一覧表、記録データ(筆単位。座標値を含む)、
 現場記録写真

(2) ボーリング調査結果報告書 1式

調査概要(平面図、調査方法等)、調査結果一覧表、ボーリング柱状図、断面図、コア写真、
 現場記録写真

(3) 土壌汚染調査結果報告書 1式

調査概要(採取深度、採取・分析方法等)、分析結果一覧表、分析結果、計量証明書(計量証明事業者登録証の写しを添付すること)、現場記録写真(試料採取時のもの)

(4) 調査結果一覧表、調査結果報告書 1式

※地中障害物等調査に係る調査結果報告書について

1筆ごとの調査結果をA3・2枚程度に取りまとめ、様式については監督員と協議の上決定すること。なお、記載する事項については以下のとおりとする。

①調査対象地の所在

②調査対象地の現況について

- ・現地状況写真
- ・土地の平面図（距離、調査範囲、写真の撮影方向）
- ・登記地目、登記地積、現在の利用状況、表層の状況

③調査実施日

④各調査の実施の有無と結果の概要

⑤地中レーダ探査の結果

- ・土地の平面図に、測線設定の状況、廃棄物混じり土の存在が推測される範囲及び推定面積を記載すること。
- ・断面図【レーダ探査結果】（平面図との対応関係を明確にすること）

⑥ボーリング調査の結果

- ・位置図、結果の概要（標尺、標高、深度、土質性状に関する事項、地中障害物の種類等）、コア写真

⑦土壌分析調査の結果

- ・試料を採取した位置を記載するとともに、コア写真に明示すること。
- ・調査結果表を転記するとともに、判定結果を記載すること。

⑧その他監督員が指示した事項

(5) その他監督員の指示した資料 1式

第7条 その他

その他の事項については、次のとおりとする。

- 現地構造物等の除却が完了後に調査に着手するものとし、調査の開始は監督員の指示による。
- 記載にない事項については、受注者及び発注者双方協議の上、決定するものとする。
- 本業務の実施にあたり、関係法令を遵守すること。
- 本業務の成果物ならびに業務によって知り得た事柄は、市の承諾なしに公表してはならない。
- その他、業務を進めるのに際し、疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議すること。
- 本委託においては、契約会計年度に翌会計年度分の前払金を含めて支払うことができる。

以 上